



翼



「 目標に向かって、多くのことに挑戦する年に 」

あけましておめでとうございます。今年度もどうかよろしく
お願いいたします。さて今年はいしぎ年。兎にまつわることわざで、「二兎を追う者は一兎も得ず」ということわざがあります。うさぎを二兎追いかけても結局両方とも捕らえることはできない、つまり2つのことを成し遂げようとしても結局どちらも失敗に終わるという意味で、欲張りにいくつも追い求めるのではなく、1つのことに集中しなさいという意味でしょうか？ところが「二兎を追い、二兎を得る」をスローガンに掲げているある都立高校があります。有名大学への進学校で、部活動も盛んでインターハイにいくつも出場している、まさに1つのことを追いかけるのではなく、欲張りにいくつもに挑戦して成し遂げるというスローガンを掲げています。私はこのスローガンが好きで、たった1回の人生、ましてや高校生の青春時代、1つなんてケチなこと言わないで失敗してもいいからいくつものことに挑戦したらいいと思うのです。

昨年も大活躍した大谷翔平選手。彼は言わずと知れたピッチャーとバッターを両立する二刀流で、まさに「二兎を追い二兎を得る」人です。昨年は残念ながらアメリカ大リーグMVPを逃しましたが、34本のホームランで4位、投手として15勝でこれも4位、MVPをとった一昨年以上の活躍といわれています。彼は、小さい頃からの夢「アメリカメジャーリーグで活躍する」を立派にかなえています。

彼が高校の1年生の時にたてた目標設定シートというのがあります。将来メジャーリーグで活躍することを夢見ていた彼は高校卒業時の目標を「ドラフト1位で8球団」をたてました。これは日本プロ野球が新人選手を選択するドラフト会議で12球団のうち8球団から1位指名を受けるといってつもなく高い目標です。彼はこの目標を達成するために、高校の間に到達しなければならない、8つの目標をたてました。それは「体づくり」「スピード時速160km」「コントロール」「変化球」「(球のキレ)」「メンタル」「人間性」「運」の8つです。そしてこの8つの目標を達成するため、それら1つ1つの目標に対して、さらにそれぞれ8つの課題を自ら課しています。8つの目標に対して8つの課題、つまり8×8=64個の課題です。その内容は「フォークボールの完成」「リリースポイントの安定」といった専門的なものから「あいさつ」「ゴミ拾い」といった普段の生活での課題にまで及びます。彼はこれらの課題克服に向け、高校の3年間、生活や練習で地道に努力を積み重ね、高校時代の目標を達成しました。

大谷選手は10年に一人といわれる才能あふれる選手です。誰でも彼のようにになれるわけではありません。でも皆さんが自分の夢を実現するためには彼がそうであったように、夢に向けて目標をもちそれを達成するには何が必要かを考えそれを克服する努力を地道に続ける事が大切なのではないのでしょうか。新しい年を迎えるに当たり、まずは将来の漠然とした大きな夢、それを実現するためにいくつかの目標をたててみましょう。

校長 井上 雅子



さて最後に「兎年」にちなんでの話です。昨年12月11日に、月探査計画「HAKUTO—R」で開発した着陸船が打ち上げに成功して、38万キロの目指す軌道に乗りました。計画名は「月のウサギ・・・白兎」にちなんでつけられました。「アイスペース」という宇宙ベンチャー企業の開発です。少ない燃料で行くために、引力のバランスを使うので、いったん地球から150万キロも離れて遠回りするので、月につくのは3月の終わり頃ですから、別の民間の着陸船に抜かれるかもしれないそうです。しかし「うさぎとかめ」のお話にあるように、かめのゆっくりな歩みで行くのも着実かもしれません。皆さんも目標に向かって、ゆっくりでいいですからあわてず焦らず、確実に1つ1つ頑張ってくださいように、今年もひばりが丘中学校の先生たち全員で全力で皆さんの成長と頑張りを応援します。

■受験生応援プロジェクト

毎年行っている、生徒会主催の3年生の進路決定を応援するプロジェクトです。1年生が蝶のカードを作り、2年生が応援のメッセージを書きました。そのあと生徒会がパウチをし、3年生一人一人のカードに完成させました。生徒会の呼びかけでは、蝶は風水で「喜び」を表し、またその美しい姿から、「きっとこれから良いことが起こるに違いない」という希望を抱かせてくれる意味があるとありました。3年生、ぜひ頑張ってください！



■土曜授業（学校公開）

寒い中でしたが、多くの保護者の方が来てくださいました。生徒たちが、一生懸命まじめに学習に取り組む授業の様子を見ていただくことができましたと思います。1, 2学期の終わりに、生徒の授業評価を実施しています。授業のわかりやすさ、工夫、タブレットの活用などの項目で、生徒が全ての教員の評価を行い、それをもとに全教員が研究授業を行い、授業改善につなげています。



何かお気づきの点などありましたら、遠慮なく学校へお伝え下さいますようお願いいたします。

■I・J学級「劇と音楽の会」保護者向け発表会

2月に行われる多摩地区特別支援教育研究会主催の「劇と音楽の会」で行う劇「カツ井屋の野望」を学校公開日に保護者に披露しました。その前日には、中原小学校つくし学級の児童に見ていただきました。頑固なカツ井やの店主と、無理難題な注文をするお客さんとの笑い涙のドタバタ人情劇。長い台詞もしっかりこなし、役になりきる熱演を披露しました。最後のダンスもかっこよかったです。



■第4回学校運営協議会

今年度2回実施した学校評価（保護者、生徒、教員）と生徒による全教員の授業評価の結果を見ていただき、学校運営協議会の評価についてお願いしました。またI・J学級の劇も参観していただきました。会議の記録については、後日ホームページで公開いたします。



■生徒の活躍（敬称略）

○バレーボール部 女子 大成Vカップ優勝

○バレーボール部 男子 大成Vカップ準優勝

○多摩アンサンブルフェスタ 金賞、優秀賞 「森の記憶～A rey of light～」(太田陽一作曲)